

第625号



喬木村公民館：長野県下伊那郡喬木村6664



発行日 2021年4月16日  
 発行責任者 喬木村公民館長 市瀬 徹  
 編集責任者 公民館編集部 長 仲田 久志  
 印刷 龍共印刷株式会社

## 2021年度 喬木村公民館活動計画 みんなで参加しましょう

公民館本館4部では、新型コロナの感染状況を見ながらですが、2021年度は下記のような事業、学習会等を計画しています。公民館活動の願いは村民の皆さんに元気になっていただくことです。どうか積極的にご参加をお願い致します。

なお、学習会やイベントなど、公民館で取り組んで欲しいこと、詳しく知りたいこと等ありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

### 令和3年度 喬木村公民館本館部員名簿

公民館長 市瀬 徹  
 ◎部長 ○副部長 ●部長代理

氏名	分館
◎ 仲田 久志	南
○ 池田 英明	上平
杉本 美紀	南
塩澤真由美	富田
◎ 知久 隆文	北
○ 後藤美智世	北町
○ 宮澤 八穂	北
湯澤めぐみ	馬場
北澤 哲也	町
牧内 恵	伊久間
木下 剛	富田
◎ 湯澤 直幸	北
下澤 修子	南
● 大平 誠	帰牛原
大原ゆかり	南
○ 羽生 裕一	帰牛原
桑原 健次	北
平澤 卓	両平
川口 範子	伊久間
下岡 悟子	南
佐藤美恵子	南
佐藤富貴子	町
伊藤 純子	氏乗
松澤 弘美	郭
中野あかね	郭

公民館主事 林田 諭 山川 尊史

内 容
編集部
・館報毎月発行
・縮刷版第2～4輯在庫販売
・ふるさとづくりフォーラム協力
社会部
・「映画と絵話の夕べ」 夏休み分館巡回上映(教養部との合同)
・たかぎふるさと祭り盆踊り運営 (8月15日)
・総合文化祭芸能大会、作品展示企画運営 (11月12日(金)から14日(日)まで)
・ふるさとづくりフォーラム企画運営
体育部
・分館対抗球技大会
5月9日(日) ペタンク
7月4日(日) 女子ソフトバレーボール
9月12日(日) 男女混合ソフトバレー
11月28日(日) 村民マレットゴルフ大会
2月6日(日) 卓球
・その他大会等
10月31日(日) 駅伝大会
・ニュースポーツの普及
教養部
・楽遊塾 講演や体験、 地域発見等のイベント5講座を計画
塾生募集(3講座)
6月6日(日) 郡外研修 一本木公園
9月4日(土) 平和学習講演会 (平和学習実行委員会との合同)
1月16日(日) 映画鑑賞
一般募集
8月29日(日) ポーセラーツ作り
12月12日(日) ヨガ教室
・たかぎふるさと祭盆踊り、椋鳩十夕やけ祭への協力
・「映画と絵話の夕べ」夏休み分館巡回上演 (社会部との合同)
・くりんネット「読み聞かせ」春・夏休み実施

### 椋鳩十ものがたり 69

#### 『椋鳩十全集』掲載作品

椋鳩十顕彰会 久保田 毅

#### 椋鳩十全集十三 「みかづきとタヌキ」

昭和四十四年

「その一」

広いスキの原っぱを、狩人が犬をつれて歩いていきます。

「……犬が、尾をふりたてて、小さな声でワンワンと鳴きました。『タヌキの足あと』

「犬はタヌキの足あとのにおいをかきかぎ、スキをわけてどんどんすすんでいきます。」

タヌキの親子はスキの中で、くっすりねむっていました。

「鉄のにおいが、かすかに音がしました。」

「……タヌキは、狩人のしかけた『トラばさみ』というワナにかかったのです。」



そして親子のタヌキは人間にとらえられたタヌキと別れをして里の畑のほうに歩いていくのです。そこにはサツマイモがくっついてあります。

「がぶつとかむと、あまいしなつたりとんだりしてつかれてしまします。おかあさんタヌキは、そばにすわってはなめたまをなめてやります。」

「ドーン！鉄砲の音です。おきました。おかあさんタヌキは……音のしたほうを、じつとつかがいました。」

親子のタヌキは、ほんとうに幸福でした。ふかふかした落ち葉の上で、暖かい日の光をあび、小鳥の声をききながら、いい気持ちでくらすのでした。

「夜になって親子のためきは丘のぼつてみました……この丘の上がすっかり気に入ってしまいました……この森ですもうとおもいました……」

公民館主事として、三年間お世話になりました。本館、分館、実行委員会の皆様には大変お世話になりました。三年間は長いようであつという間に過ぎ去つたように感じます。特に後半は新型コロナウイルスにより、本館だけでなく分館の事業もできませんでしたが、いろいろと学ばせていただきました。主事の間にも地域の方が大切だということを感じています。私には感謝の念に堪えない」と平井知事が謝罪している。

自粛続きでストレスが溜まっていることは分かる。経済活動との両立も必要だ。しかし、感染者を出してしまつてからは遅い。ワクチン接種が進むまで今しばらくの我慢が必要だと私は思う。(館長)

長野県内も例外ではない。東北信を中心に県内の感染者は増えている。また、ほとんどの県で毎日感染者が出ており、全国に広がっていることは事実だ。今、飯伊地区の感染状況は落ち着いているが、いつ感染者が出てもおかしくないと思ふ。現に感染者がほとんど出ていなかった鳥取県では、県職員の送別会でクラスターが発生し、「職員に緩みが生じていたのではないか。慙愧の念に堪えない」と平井知事が謝罪している。

### 公民館活動に寄せて

社会部長 知久 隆文



公民館社会部長の知久です。喬木村の皆様におかれましては、日頃より公民館社会部の活動へのご理解とご協力、そして分館の方々をはじめ多くの方にお力添えを頂いておりますことに、社会部を代表して感謝申し上げます。

送別会で揺れている。厚労省の職員二十三名が、銀座の居酒屋で送別会を行っていたことが明るみに出た。しかも九時までの時短営業をしているにもかかわらず、送別会は深夜にまで及んでいたという。まさに開いた口が塞がらないとはこのことだ。また、千葉県ではコロナ対策を担当する健康福祉部の職員四人が行っていた送別会も問題視されている。年末年始に大変だった第三波は、十一都府県に出された緊急事態宣言でやや下火にはなつたが、また三月中旬から感染者が増え始め、今まさに第四波が押し寄せようとしているといつてよい。

### お世話になりました



公民館主事として、三年間お世話になりました。本館、分館、実行委員会の皆様には大変お世話になりました。三年間は長いようであつという間に過ぎ去つたように感じます。特に後半は新型コロナウイルスにより、本館だけでなく分館の事業もできませんでしたが、いろいろと学ばせていただきました。主事の間にも地域の方が大切だということを感じています。私には感謝の念に堪えない」と平井知事が謝罪している。





喬木第一小学校の桜 (令和3年4月撮影)

### 喬木俳句会 弥生句会詠草

笛の音は心の中や春祭り  
 巣ごもりの日々につつしか春来る  
 受験子も時を忘れて川遊び  
 桜咲く我が家の庭を愛ほしむ  
 沈丁の花かんざしや京舞妓  
 槌音の天空突きし浅き春  
 鍵盤の指軽やかに春うらら  
 読み止しの書を再読す春炬燵

宮島 高枝  
 秦 恭子  
 西本くにこ  
 市橋 ヨリ

里の香を載せて軽やか風車  
 レタス植う日差し集める大地かな  
 鶯や卒寿の二人に寄り添ひて  
 蛙鳴く川辺に吾子の歓声も  
 降る雨もやがて光へ白椿  
 幼児も三色すみれも背伸びして  
 朝日浴び残雪煌めく鬼面山  
 病みし身を優しく包む春の夜着  
 退院の春天容るる街並木  
 一病で済まぬ息災老いの春  
 語り部の命ひとすじ春の色

田中 君子  
 村山たか子  
 松葉 孝子  
 原 美恵  
 吉川てる子

※ごなたでもお気軽にご参加ください。



みごとに咲いたくりん草 (平成27年5月撮影)

が土砂で埋まってしまいましたが、多くの方々に協力をお願いして、埋まってしまったホース、木道などの掘り起こしをさせていただきました。

## R3年度分館活動計画

分館名	戸数	分館長	スポーツ (分館対抗を除く)	講習会・その他 (健康のつどい・村文化祭を除く)	館報 (発行回数)
北	203	仲田 和文	公民館企画スポーツイベント	春のお花見ウォーキング、村政を聴く会、夏のイベント、敬老会	1
寺の前	41	松澤 正進	組合対抗球技大会	ブルーベリーの定植、敬老会、秋祭りへの協力、ほんやりの準備	2 + 特別号
犇牛原	107	木下 英樹	球技大会、運動会	敬老会	1
郭	35	吉岡今朝一		敬老会、手芸教室、正月飾り講習会、ほんやりづくり	
町	170	市瀬 兼寿	健康ウォーキング、球技大会	阿島祇園祭納涼祭、敬老会	
南	197	下岡 利光	マレットゴルフ大会、スポーツ大会	花壇花植え付け、おやす作り講習会、ほんやり	2
馬場	105	原 和由		花壇・花の管理、敬老会、女性部講演会	
両平	38	原 和彦	厚生大会 (マレットゴルフ大会)	河川清掃、研修旅行、敬老会	
田上川	72	下平 裕	女性部・親子レクリエーション	フラワーロード各種作業、河川清掃、デイキャンプ、敬老会、正月飾りづくり、ほんやり、歓迎会	
上平	95	宮澤 考司		(花火大会)、(座禅の会)、(敬老会未定)	
伊久間	271	伊藤 啓二	区民マレットゴルフ大会、組合対抗ニレク (室内パタンク) 大会・常会対抗ソフトボール大会	敬老会、わの里祭り、しめ縄づくり	
富田	236	木下 昭治	常会対抗ソフトボール大会	夏祭り、秋祭り、門松・おやす作り	1
大和知	49	小澤 裕治	区民スポーツ大会	敬老会、花壇管理、納涼大会、区民遠足、どんど焼き	1
氏乗	60	元島 政好	区民体育祭	花壇作り、河川清掃、敬老会、手芸教室、チューリップ植え、婦人部遠足、公民館旅行、図書貸し出し	
大島	36	佐々木 泰		シダレザクラお花見、敬老会、花壇作り、旅行	
加々須	54	村山 蔵男	スポーツ大会	夏祭り、サロン開催、オカリナ、区民親睦事業、縁染 (つる細工)、獅子保存会	

## くりん草愛好会

今年春の訪れが早く、桜は一週間以上早く、あつと言う間に満開となり咲き誇っています。くりん草も一斉に緑色の芽を吹き出し、手入れ作業も忙しくなりました。

くりん草は平成八年に村の花に制定され、各家庭に五株ずつ配布されました。有志数名で大和知洞に植え始め、徐々に声かけをして賛同する人を増やし、会員組織にして平成十二年に正式にくりん草愛好会が発足しました。以来、村の花くりん草を守り育てようと奮闘しています。現在会員は三十人ほどですが、くりん草が植わっている所は随分増え、二月下旬から始まる

園内の手入れ作業は、落ち葉かき、草取り、草刈り、水の取り入れなどで大変です。特に草取りは機械では出来ないのですべて手作業となり、高齢化してきている会員にはきつともあります。しかし、咲き誇った時の感動を思うと、つい夢中になり頑張れます。そして、五月上旬から六月上旬にかけてきれいに咲いたくりん草を、多くの人に見てもらえたらと、くりん草まつりを開催しています。

しかし、昨年は新型コロナウイルスでお祭りも中止を余儀なくされました。それに追いつちをかけるように、七月の豪雨災害でくりん草園も大打撃を受け、園の約半分が土砂で埋まってしまいましたが、大ショックでした。多くのボランティアの方々に協力をお願いして、埋まってしまったホース、木道などの掘り起こしをさせていただきました。

本日に感謝感謝でした。その後土砂の取り除きなどの工事も進み、半分位は花が咲ける見通しがついたので、今年くりん草まつりを五月上旬に開催したいと思っている所です。花を見に来てくれるリピーターの方も多く、昨年見られなくて残念だったとの声を何度も聞きました。今年こそは綺麗に咲いたくりん草を多くの方に見ていただきたいと思いをします。

また、村の花くりん草を守って行くためにも、会員になっていただける方をお待ちしています。

## お知らせ

### 令和3年度楽遊塾 講座内容について

今年度の楽遊塾の講座計画です。大勢の皆さんのご参加をお待ちしています。

#### 講座内容

3 講座 括り募集 (令和3年度塾生募集)

【第1講座】「郡外研修 中野市一本松公園のバラ見学」 6月6日(日)

【第3講座】「タテ・タカコさん 安田菜津紀さん 平和学習講演会」 9月4日(土)

【第5講座】「映画鑑賞会」 1月16日(日)

以下の2講座は改めて参加者を募集します。

【第2講座】「ポーセラーツ教室」 8月29日(日)

【第4講座】「ヨガ教室」 12月12日(日)

新型コロナウイルスの感染状況により、中止あるいは延期になる場合があります。ご理解ください。

・第1・3・5 講座の括り募集 (令和3年度塾生募集) については、4月末日までに公民館に電話で申込んでください。(電話: 33-2002)

### 公民館本館部員を募集しています

喬木村公民館では、本館部員を募集しています。本館事業の企画・運営に携わっていただきます。私たちと一緒に、楽しく公民館活動をしてみませんか。お問い合わせは公民館まで (電話: 33-2002)

## 編集後記

氏乗のしだれ桜が満開となった。この桜は咲き始め二日程はピンクが濃いのが、あとはだんだん薄くなるらしい。確かに朝見た桜より夕方見た桜の方が色が薄くなっていた。

また、田本平に満天桜と看板のある素敵なしだれ桜をご存知だろうか。フラワーロードからもきれいに見ることが出来る。

連日の暑さで一気に色々な花が咲いてしまい、ゆっくり花見にも行けない春である。